

平成 29 年度 社会科 第 1 学年 学習指導計画・評価計画

1. 社会科の学習指導のねらいおよび目標

社会に対する関心を高め、いろいろな資料からいろいろなことを考え、日本の国土と歴史を理解し愛情を深め、日本人の大人としての基礎的な事柄を身に付け、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の一員として必要な教養の基礎を身に付ける。

2. 社会の学習で大切なこと

地理は、地図とともに各地域の地形や気候などの自然条件等をよくイメージして理解してください。歴史は、年表とともに時代の流れや歴史的背景等をよくイメージして理解してください。そして、常にいろいろな角度から考えることを行ってください。

3. 思考力・判断力・表現力を高めるには

【思考力】授業中に、必ず「なぜなんだろう、なぜこうなるんだろう」と疑問をもって授業に取り組んでください。【判断力】最終的には「どうすることがベストになるんだろう」と最終結論を各自出してください。【表現力】自分で出した結論を発表していただきます。みんなによく理解してもらえるように、発表内容の工夫を高めていってください。

4. 家庭学習の進め方

教科書をよく読み、ノートに書いたことやワークシート、プリント等をよく見直し、ワークブックや白地図をしっかりとやり、理解してください。授業中によく理解できなかったところを中心に復習を行ってください。理解できないところは、先生に質問に来てください。

5. 評価について

各定期テストの点数、ワークシート・プリント・ノート・白地図・ワークブック等の内容、小テストの点数、授業中の発表、等の総合成績で評価を出します。

【評価の観点およびその趣旨】

	観 点	趣 旨
1	社会的事象への関心・意欲・態度	ノート、ファイル、ワークブック等の提出物、授業観察、
2	社会的な思考・判断・表現	定期テスト、授業内ワークシート、提出物、他
3	資料活用の技能	定期テスト、授業内ワークシート、提出物、他
4	社会的事象についての知識・理解	定期テスト、小テスト、他

◇年間指導(学習)・評価計画

学年	月	領域	学習内容	評価の観点	評価規準	評価の方法
1 学 期	4	地理 的分 野	第1部 世界のさまざまな 地域 1. 世界の姿(4) 2. 世界各地の人 々の生活と環境 (12)	・社会的 事象への 関心・意 欲・態度 ・社会的 な思考・ 判断・表 現 ・資料活 用の技能 ・社会的 事象につ いての知 識・理解	・国の大小、国境の意味などを様々な視点から大観さし、世界地理への関心を高めている。 ・地球儀や世界地図などを活用して、緯度・経度による地球上の位置の表し方などの知識や技能を身に付けている。 ・異なる自然環境と人々の生活の特色をとらえている。 ・各州の特色を、自然環境、歴史、生活・文化、産業、結び付きなどの面からとらえている。 ・雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連づけなどの地理的技能を身に付けている。 ・関心がある国を追求・探求し、意欲的に取り組むようにしている。 ・歴史に関心をもち、時代区分の方法・年代の表し方について理解している。	・定期テ スト ・授業観 察 ・プリン ト ・提出物 ・ワークシ ート ・ノート ・ファイル ・ワークブ ック ・小テスト
	5					
4 / 6 ~ 7 / 2 0						

	6		3. 世界の諸地域 ・アジア ・ヨーロッパ		・異なる自然環境と人々の生活の特色をとらえている。 ・各州の特色を、自然環境、歴史、生活・文化、産業、結び付きなどの面からとらえ、理解している。	
	7					
	4	歴史的分野	第1章 歴史の移り変りを考えよう(3) 第2章 原始・古代の日本と世界 ・人類の出現と文明のおこり(7) ・日本の成り立ちと倭の王権(6)		・人類が出現し、やがて世界各地で古代文明や宗教がおこったことを理解している。 ・日本列島で狩猟・採集を営んでいた人々の暮らしの変化について考えている。 ・中国や地中海地域に統一国家が成立し、東西の交流がおこなわれたことを理解している。 ・日本列島で国家が形成されていく過程を東アジアとのかかわりを通して理解している。	
	5					
	6					
	7					
2 学 期	9 1 0 1 1 7 2	地理的 分野	3. 世界の諸地域 ・アフリカ ・北アメリカ ・南アメリカ ・オセアニア (31)	・社会的 事象への 関心・意 欲・態度 ・社会的 な思考・ 判断・表 現	・異なる自然環境と人々の生活の特色をとらえている。 ・各州の特色を、自然環境、歴史、生活・文化、産業、結び付きなどの面からとらえ、理解している。	・夏期休業中の課題 ・定期テスト ・授業観察
／	9 2 1 ～ 1 1 0 2 ／ 2 5	歴史的 分野	・大帝国の出現と律令国家の形成(7) ・貴族社会の発展(6)  第3章 中世の日本と世界 ・世界の動きと武家政治の始まり(7)	・資料活 用の技能 ・社会的 事象につ いての知 識・理解	・7～8世紀の世界では、東西に大帝国が成立し、シルクロードを通じて国際交流が盛んになったことを理解している。 ・日本では、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家のしくみが整えられたことを理解している。 ・天皇や貴族の政治が展開し、古代国家が発展していったことや文化の国風化が進んだことを理解している。 ・国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解している。 ・13世紀ごろの世界では、ユーラシア大陸をまたぐ広大なモンゴル帝国(元)が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったことを理解している。 ・日本では、武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配がしだいに全国に広まったことを理解するとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化の特色について考えている。	・プリント ・提出物 ・ワークシート ・ノート ・ファイル ・ワークブック ・小テスト
3 学 期	1 2 2 3 ／ 2 6 1 2 3 3 ／ 2 3	地理的 分野	4. 世界のさまざまな地域の調査(5)  第2部 日本のさまざまな地域 1. 日本の姿(8)	・社会的 事象への 関心・意 欲・態度 ・社会的 な思考・ 判断・表 現	・世界の諸地域で暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、様々な地域又は国の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追求し、世界の地理的認識を深めるとともに、世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点や方法を身に付けている。 ・地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観している。	・冬期休業中の課題 ・授業観察 ・プリント ・提出物 ・ワークシート ・ノート ・ファイル ・ワークブック ・小テスト
／	6 1 2 3 3 ／ 2 3	歴史的 分野	・ゆれ動く武家政治と社会(9)	・資料活 用の技能 ・社会的 事象につ いての知 識・理解	・南北朝の争乱と室町幕府の成立、応仁の乱後の社会的な変動と戦国の動乱について、東アジア世界との密接な関わりとともに理解している。 ・農業などの諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが成立したことを理解するとともに、室町文化には禅宗の影響があることや現在との結び付きが見られることに気付いている。	

## 平成 29 年度 社会科 第 2 学年 学習指導・評価計画

### 1. 社会科の学習指導のねらいおよび目標

皆さんは大人になったら、社会人として活躍していきます。今年は日本の地理と中世以降の歴史を学習します。社会で起こっていることがらに関心を持って、いろいろな見方をもって考え、そのことが正しいのか正しくないのかを判断できるように育てることが大きなねらいです。

### 2. 社会科の学習で大切なこと

授業では、基礎になることを中心にすすめていきます。樹木で言うと幹になるところです。枝や葉になるようなことがらを見つけ、「先生に聞いてみよう!」、「図書館で調べてみよう!」という瞬間になると学習内容が深まるものです。

### 3. 思考力・判断力・表現力を高めるには

1年生のときには、ノートのとりかたを学んだので実践してみましょう。2年生は、学習した内容を再現できることが目標です。具体的には、例えば1時間の授業の流れを、言葉で説明できるようになることです。そうすれば、理解力が自然と高まっていくものです。

### 4. 家庭学習の進め方

毎日授業後に学習ノートを見るだけでも効果がありますから、実践してみませんか。試験前だけに集中せず、毎日コツコツと取り組めるようにしていきましょう。

### 5. 評価について

普段の学習の取り組み、授業に対する姿勢、提出物と定期試験結果を評価材料に使用します。

#### 【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
関心・意欲	社会的な事柄に対する関心を高め、よりよい社会を考えることができたか。
思考・判断	社会的な事柄に対して様々な見方を持ち、正しい判断ができたか。
技能	社会的な事柄を表した資料から、情報を適切に選ぶことができたか。
知識・理解	社会的な事柄の意義や特色を理解し、知識を身に付けることができたか。

#### ◇年間指導(学習)・評価計画

学期	月	領域 単元	学習内容	評価の観点	評価規準または 基準	評価の方 法 評価材料
一学 期(4 / 6 ~ 7 / 20)	4月	【歴史的 分野】	第3章 中世の 日本と世界 2 ゆれ動く武 家政治と社会か ら(8)	・社会的事 象への関 心・意欲・ 態度・社会 的な思考・ 判断・資料 活用の技 能・表現 ・社会的事 象について の知識・理 解	・南北朝の騒乱と室町幕府、東アジアの国 際関係、応仁の乱後の社会的案変動などを 通して、武家政治の特色を考えさせる。 ・ヨーロッパでのルネサンス、宗教改革、 新航路の開拓などの動きや、日本に來航し た背景や目的を理解し、日本の社会へ及ぼ した影響について考える。	・定期試 験、提出 物、授業 の発言や 取り組み
	5月		1 結びつく世 界との出会い (6)			
	6月	2 天下統一へ の歩み(6)				
	6月	3 幕藩体制の 確立と鎖国(6)				
		【地理的 分野】	第2部 日本の さまざまな地域		・日本の国土の位置・地域の特色と変化を 世界的な視点から考察し、理解する。日本 の領域とロシア連邦、韓国との間の領土問 題について理解する。・世界的視野から 日本の地形や気候の特色を理解させると ともに、自然災害と防災への関心をもたせ る。	
7月	第1章 日本の 姿(2) 第2章 世界と 比べた日本の地 域的特色(4)					

			第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方(各3)		・九州地方の地域的特色について環境問題の取り組みを中核として、自然環境や産業、地域開発の動向、人々の生活などに関連づけて考察する。 ・人口や都市・農村を中核として、自然環境、産業などの面を関連づけて考察する。	
二期(7/21~2/5)	9月	【歴史的 分野】	第5章 近代の幕開け 1 近代世界の確立とアジア(6) 2 開国と幕府政治の終わり(6)	・社会的事象への関心・意欲・態度・社会的な思考・判断・資料活用の技能・表現 ・社会的事象についての知識・理解	・欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国がアジアへ進出したことを理解する。 ・新政府による諸改革により近代国家のものが整えられ、人々の生活が大きく変化したこと、また立憲国家となっていくことを理解する。	・定期試験、提出物、授業の発言や取り組み
	10月		第6章 近代の日本と世界 1 明治維新と立憲国家への歩み(6) 2 激動する東アジアと日清・日露戦争(6)			
	11月	【地理的 分野】	3 近代の産業と文化の発展(6) 3節 近畿地方 4節 中部地方(各3) 5節 関東地方 6節 東北地方(各3)			
	12月					
三期(12/26~3/3)	1月	【歴史的 分野】	第7章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と民族独立の動き(6) 2 大正デモクラシー(6) 3 恐慌から戦争へ(6)	・社会的事象への関心・意欲・態度・社会的な思考・判断・資料活用の技能・表現 ・社会的事象についての知識・理解	・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを通して、第一次世界大戦後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。	・定期試験、提出物、授業の発言や取り組み
	2月					
	3月	【地理的 分野】	7節 北海道地方(3) 8節 身近な地域の調査(4)			

平成 29 年度 社会科 第 3 学年 学習指導計画・評価計画

1. 社会科の学習指導のねらいおよび目標  
社会に対する関心を高め、いろいろな資料からいろいろなことを考え、日本の国土と歴史を理解し愛情を深め、日本人の大人としての基礎的な事柄を身に付け、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の一員として必要な教養の基礎を身に付ける。
2. 社会の学習で大切なこと  
歴史は、年表とともに時代の流れや歴史的背景等をよくイメージして理解してください。公民(政治・経済)は、日本で実際に今行われている状況に関心をもって、意識して考えてみてください。そして、常にいろいろな角度から考えることを行ってください。
3. 思考力・判断力・表現力を高めるには  
【思考力】授業中に、必ず「なぜなんだろう、なぜこうなるんだろう」と疑問をもって授業に取り組んでください。【判断力】最終的には「どうすることがベストになるんだろう」と最終結論を各自出してください。【表現力】自分で出した結論を発表していただきます。みんなによく理解してもらえるように、発表内容の工夫を高めていってください。
4. 家庭学習の進め方  
教科書をよく読み、ノートに書いたことやワークシート、プリント等をよく見直し、ワークブックをしっかりとやり、理解してください。授業中によく理解できなかったところを中心に復習を行ってください。理解できないところは、先生に質問に来てください。
5. 評価について  
各定期テストの点数、ワークシート・プリント・ノート・ワークブック等の内容、小テストの点数、授業中の発表、等の総合成績で評価を出します。

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
1 社会的事象への関心・意欲・態度	ノート、ファイル、ワークブック等の提出物、授業観察
2 社会的な思考・判断・表現	定期テスト、授業内ワークシート、提出物、他
3 資料活用の技能	定期テスト、授業内ワークシート、提出物、他
4 社会的事象についての知識・理解	定期テスト、小テスト、他

◇年間指導(学習)・評価計画

期	月	領域	学習内容	評価の観点	評価規準	評価の方法	
1 学 期	4	公民	1節 現代社会の特色と私たち(7時間)	・社会的 事象への 関心・意 欲・態度 ・社会的 な思考・ 判断・表 現 ・資料活 用の技能 ・社会的 事象につ いての知 識・理解	・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解させるとともに、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付く。また、現代社会における文化の意義や影響を理解するとともに、我が国の伝統と文化に関心をもち、文化の継承と創造の意義に気付く。 ・人間は本来社会的存在であることに着目し、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考え、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解する。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付く。	・定期テ スト ・授業観 察 ・プリン ト ・提出物 ・ワークシ ート ・ノート ・ファイル ・ワークブ ック ・小テスト ・グループ 活動	
	5	現代社会と私たちの生活(18時間)					
	6	2節 私たちの生活と文化(4時間)					
	4 / 6 ~ 7 / 2 0	3節 現代社会の見方や考え方(7時間)					
	4	歴史	1 明治維新と立憲国家の歩み(6時間)				・日本の近代国家の基礎形成を、改革・外交・経済・文化等の面から理解している。 ・条約改正の対外戦争で、日本の国際的地位の向上や大陸との関係を理解している。 ・産業革命が国民生活に与えた影響について経済の変化と人々の生活の変化との関わりから多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・第一次世界大戦の背景とその影響、大戦後の国際平和への努力を、日本の動きと関わらせて理解している。 ・帝国主義政策から大戦後の動きまでを、多面的・多角的に考察し、表現できる。また、大戦後の日本の動きを政治・社会・文化を関連づけて考察し、表現できる。
	5	第6章	2 激動する東アジアと日清・日露戦争(3時間)				
	6	3 近代の産業と文化の発展(3時間)					
7	第7章	1 第一次世界大戦と民族独立の動き(6時間)					
	2 大正デモクラシー(3時間)						

2 学 期  1 7 0 / 2 1 1 2 / 2 1 5 2	9	公民 第2章 個人の 尊重と 日本国 憲法 (16時 間)	1節 人権と日本国憲法 (5時間) 2節 人権と共生社会 (7時間) 3節 これからの人権保 障(4時間)	・社会的 事象への 関心・意 欲・態度 ・社会的 な思考・ 判断・表 現 ・資料活 用の技能 ・社会的 事象につ いての知 識・理解	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に 深め、法の意義を理解するとともに、民主的な社会生活 を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理 解し、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われてい ることの意義について考える。また、日本国憲法が基本 的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則とし ていることについての理解を深め、日本国及び日本国民 統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行 為について理解する。 ・地方自治の基本的な考え方について理解する。その際、 地方公共団体の政治の仕組みについて理解するとともに 、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に 寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てて いる。また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組 みのあらましや政党の役割を理解し、議会制民主主義の 意義について考えるとともに、多数決の原理とその運用 の在り方について理解を深める。さらに、国民の権利を 守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な 裁判の保障があることについて理解するとともに、民主 政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との 関連について考える。その際、選挙の意義についても考 える。	・夏期休 業中の課 題 ・定期テ スト ・授業観 察 ・プリン ト ・提出物 ・ワークシ ート ・ノート ・ファイル ・ワークブ ック ・小テスト ・グループ 活動
	9	歴史 第7章 (10時 間)	3 恐慌から戦争 へ(5時間) 4 第二次世界大 戦と日本の敗戦(5 時間)		・世界の様々な動きと合わせて、日本の軍部の台頭から 戦争までの経過を理解する。 ・欧州での戦争、日中、太平洋戦争を関連づけながら、 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現してい る。また、平和の大切さについて、現在の世界の動きと ともに学び、思いを深める。 ・第二次世界大戦後の世界の動きと日本の諸改革につい て多面的・多角的に考察できる。 ・世界の動きと日本の発展、国民生活の向上を理解でき る。 ・これからどのように社会と関わればよいのかを自分な りに表現できる。  ・身近で具体的な例を基に、経済に対する関心を高める。 経済活動における選択、消費者の権利、流通について多 面的・多角的に考えることができる。 ・企業の生産活動や社会的責任、株式会社の仕組みや現 代企業の特徴を理解し、将来について意欲的に考える。	
3 学 期  1 2 / 2 6 / 3 / 2 3	1	公民 第5章 地球社 会と私 たち (14時 間)	1節 国際社会の仕組み (5時間) 2節 さまざまな国際問 題(5時間) 3節 これからの地球社 会と日本(4時間)	・社会的 事象への 関心・意 欲・態度 ・社会的 な思考・ 判断・表 現 ・資料活 用の技能 ・社会的 事象につ いての知 識・理解	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際 協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各 国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際 機構などの役割が大切であることを認識し、国際社会に おける我が国の役割について考える。その際、日本国憲 法の平和主義について理解を深め、我が国の安全と防衛 及び国際貢献について考えるとともに、核兵器などの脅 威に着目し、戦争を防止し、世界平和を確立するための 熱意と協力の態度を育てている。また、地球環境、資源 ・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、 技術的な協力などが大切であることを理解する。	・冬期休業 中の課題 ・授業観 察 ・プリン ト ・提出物 ・ワークシ ート ・ノート ・ファイル ・ワークブ ック ・小テスト ・グループ 活動
	1	公民 第4章 (16時 間)	3 価格の働きと 金融(6時間)		・企業や雇用についての課題を見つけ、その解決策につ いて話し合い、考えを深めて表現できる。 ・日常生活と結びつけて、需要と供給、価格の関係につ いて、多面的・多角的に考察できる。 ・公共サービスなどを調べ、政府の経済的な役割を理解 する。また、少子高齢社会における社会保障についての 課題を見つけ、解決策を話し合い、考えを深める。 ・グローバル化する世界の中で、日本経済の発展や環境 問題、経済格差などについて自分の考えをもつことが できる。	
	2		4 政府の役割と 福祉(5時間)			
	3		5 これからの経 済と社会(5時間)			